

# 理解を深める取り組みの先に

～1人1人の声や視点を活かして～

○星 希望（あおぞら銀行 人事部人事グループ 調査役 精神保健福祉士/企業在籍型職場適応援助者）

## 1 はじめに

当行では誰もが働きやすい環境づくりを目指し、日々様々な取り組みを続けている。昨年は「聴覚障がいへの理解を深める会」をはじめ、主に聴覚障がいのある行員との取り組みについて紹介したが、今回は令和3年度「東京都障害者雇用優良取組企業」（障害者雇用エクセレントカンパニー賞東京都知事賞）の受賞理由の1つである「障がいのある行員の声や視点を丁寧に聞いている」に焦点を当て、聴覚障がいのみならず、様々な障がいのある行員との取り組みについて紹介する。



図2 オンラインでのスモールミーティングイメージ

## 2 障がいのある行員の声に耳を傾ける取り組み

個々に異なる障がいへの配慮には1人1人の声に耳を傾けることが必要不可欠であるが、当行ではそうした個別の対応だけでなく、それぞれの声や視点は皆の働きやすさにも繋がると考え、次の取り組みを行っている。

### (1) 「スモールミーティング」の開催

社長ほか業務執行役員と障がいのある行員が直接対話を行う「スモールミーティング」を昨年度に引き続き実施し、働きやすい環境づくりに向けた意見交換や交流をはかっている。状況に合わせて対面やオンラインでの開催をしており、聴覚障がいのある行員が参加する場合には、音声文字化アプリである「UDトーク®」を使用し、参加者の発言をリアルタイムで文字表示して確認できるようにすることはもちろんのこと、発話が難しい行員もタイピングなどで意見を発信できるよう工夫をしている（図1、2）。

### (2) 障がいのある行員による行内発信

昨年の発表で聴覚障がいのある行員が考案した「あおぞら耳マーク」や「コミュニケーション支援ボード」を紹介したが、以降も行内食堂で活用するための「コミュニケーションカード」を考案、作成するなどの取り組みを継続している（図3、4）。

参加者UDトーク接続イメージ

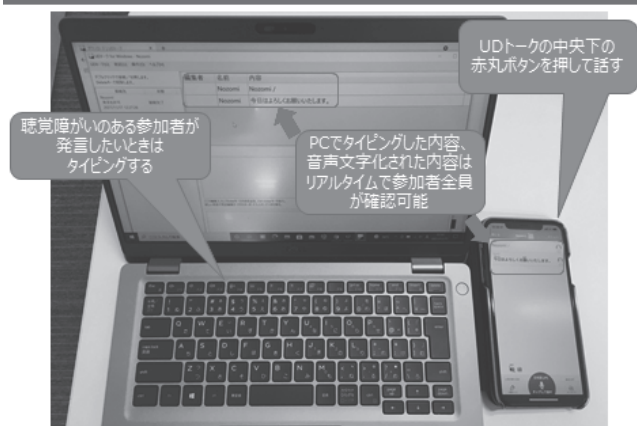


図1 スモールミーティングでのUDトーク使用例



図3 あおぞら耳マーク、コミュニケーション支援ボード



図4 行内食堂コミュニケーションカード

上記コミュニケーションカード作成過程において、聴覚障がい以外の障がいのある行員からも様々なアイデアや意見が寄せられた。そこで誰でも使用しやすい食堂を目指した「ユニバーサル食堂プロジェクト」を立ち上げており、今後も個々の声を大事に活動していきたい。

障がいのある行員による行内発信はツールに限らず、障

がい」を題材としたコンテンツの紹介や普段抱えている想いについても行内のイントラネットを通して発信しており、全行で共有をしている。当行では「障がいをあまりオープンにしたくない」という意見も大事な声として受けとめ、個別に配慮しているため、読者である従業員の多くは、発信を読むことで障がいを初めて知り、新たな気づきを得ており、また発信者は日常の業務を超えて同僚と関わりを持つきっかけになるなど、相互の交流は広がりを見せている（図5）。



図5 障がいのある行員が行内イントラネットで発信した記事

### (3) ディスクロージャー誌（統合報告書）作成への参画

当行のディスクロージャー誌（統合報告書）のダイバーシティ&インクルージョンのページにはこれまでも「手話サークル」や「聴覚障がいへの理解を深める会」などを掲載してきたが、当事者だからこそ気がつく視点を活かしていきたいと考え、新たに「ディスクロージャー誌（統合報告書）参画プロジェクト」として障がいのある行員から希望者を募り、作成を進めた。

業務執行役員と障がいのある行員が個別に対話し、これまで掲載してきた内容を振り返った上で、掲載したい内容について対話を重ね、「障がいのある従業員が安心して働ける環境づくり」のページを設けることにした。議論の中では、当行として何を発信したいかという視点だけでなく、読み手がどう感じるかにも思いを巡らせ、写真やレイアウトのような読みやすさの印象だけでなく、言葉の選び方についても慎重にすべきとの意見があった。さらに「障がい」の表記について、当行としての考えを明確にすべきではない意見もあり、皆で障がいへの理解についてあらためて深く考える機会となった。また、プロジェクト参加者の障がいの状況が様々であることから、それぞれが普段感じていることを「障がいのある従業員の声」として掲載している（図6）。



図6 ディスクロージャー誌（統合報告書）2022一部抜粋

### 3 今後に向けて

この1年間、障がいのある行員と共に取り組みを続ける中で「形として残るものに携われて嬉しい」、「ご覧になった方が何かを感じていただけたら嬉しい」という声が多くあり、想いを形にすることの大切さをあらためて感じた。働きやすい環境づくりは、周辺の環境整備のみならず、取り組み内容の紹介や統合報告書のページ作成など、一緒になって行内外に発信していくことまでが一連の取り組みと言えるかもしれない。さらには多くの方に知っていただくことで障がいのある方の働き方を考えるきっかけに繋がれば幸いである。

コロナ禍は続いており、聴覚障がいのある行員とは引き続きコミュニケーションのあり方について一緒に考えていきたい。併せて様々な障がいのある行員にとっても働きやすい、そしてやりがいを感じられる職場になるようさらに前進していきたい。そのためには様々な障がいのある行員の意見を受けとめ、発信できる機会を増やしていくことが必要だと考えている。「障がいのある行員が気兼ねなく話すことができること」「障がいのある行員の考えを尊重すること」「皆で共有していくこと」この3つを大切に誰もが働きやすい社会の実現に努力していきたい。

#### 【連絡先】

星 希望  
あおぞら銀行 人事部 人事グループ  
Tel : 050-3138-7211  
E-mail : n.hoshi@aozorabank.co.jp